



(A SMALL PRIVATE CHAPEL ON A COUNTRY ESTATE) 1920年

松ノ井覚治の建築ドローイング

——ニューヨークで学んだボザール建築——

KAKUJI MATSUNOI'S ARCHITECTURAL DRAWINGS

——BEAUX-ARTS ARCHITECTURE LEARNED IN NEW YORK——

2016年10月3日[月]－10月21日[金]

Mon. 3 October – Fri. 21 October 2016

京都工芸繊維大学 美術工芸資料館

Museum and Archives, Kyoto Institute of Technology

開館時間: 10時－17時(入館は16時30分まで) / 休館日: 会期中無休 / 入館料: 無料

主催: 京都工芸繊維大学 美術工芸資料館

Hours: 10:00 - 17:00 (admission until 16:30) / Open: Everyday / Admission: Free

Organizer: Museum and Archives, Kyoto Institute of Technology

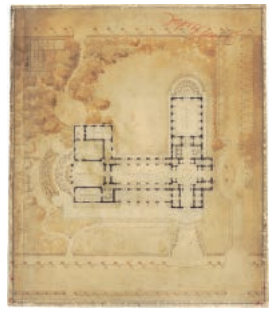
<http://www.museum.kit.ac.jp/>



1



2



3



4



5



6

松ノ井覚治の建築ドローイング

—— ニューヨークで学んだボザール建築 ——

KAKUJI MATSUNOI'S ARCHITECTURAL DRAWINGS

—— BEAUX-ARTS ARCHITECTURE LEARNED IN NEW YORK ——

2016年10月3日[月] - 10月21日[金]

Mon. 3 October - Fri. 21 October 2016

松ノ井覚治(1896-1982)は、1918年に早稲田大学理工学部建築学科を卒業したのち、アメリカン・ボザールと呼ばれる歴史主義建築が全盛だった1920年代初頭のニューヨークで意匠設計を学び、設計の実務にも就いた奇妙な経歴を持つ建築家です。村野藤吾(1891-1984)の早稲田大学時代の同級生としても知られ、1932年に帰国した後はヴォーリズ建築事務所の東京出張所長として本場仕込みの腕を振るいました。

ニューヨーク時代、松ノ井は「銀行建築家」と呼ばれたモレル・スミス建築事務所の一員として多くの銀行建築に携わり、1930年に設計主任として携わったマンハッタン銀行本店では、高さ世界一を競った超高層ビル(現・40ウォール・ストリート)の主階に、銀行本店にふさわしい華麗な装飾に包まれる美しい空間を作り上げました。渡米10年程の青年建築家がこれほどの大きな仕事をやり遂げるまでには、アメリカの建築界に受け容れられる実力を養うための鍛錬があったことは想像に難くありません。本展覧会では、松ノ井が渡米直後のコロンビア大学在籍時に描いた建築ドローイングを軸に、その鍛錬の足跡を辿ります。

○お問合せ | Contact

京都工芸繊維大学 美術工芸資料館
Museum and Archives, Kyoto Institute of Technology
〒606-8585 京都市左京区松ヶ崎橋上町
Hashigami-cho Matsugasaki Sakyo-ku Kyoto 606-8585

TEL:075-724-7924

FAX:075-724-7920

E-MAIL:shiryokan@jim.kit.ac.jp

<http://www.museum.kit.ac.jp/>

▽アクセス | Access

<地下鉄>

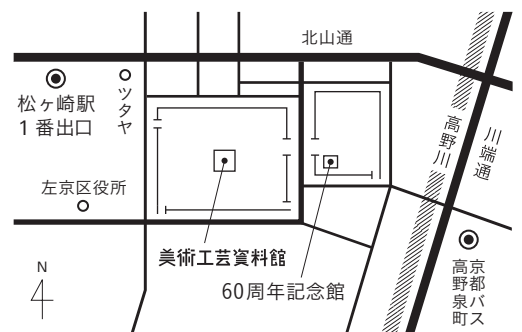
京都市営地下鉄烏丸線「松ヶ崎駅」1番出口から
右(東)へ約400m、4つ目の信号を右(南)へ約180m

<バス>

京都バス「高野泉町」下車、馬橋を渡り左へ約200m

<By Subway from Kyoto Station>

Take the "Kokusai Kaikan" bound Karasuma Line Subway to
"Matsugasaki" Station, and walk east for 8 min.



1 《A SCHOOL OF ARCHITECTURE》1921年頃

2,3 《A HOTEL FOR A SMALL TOWN》1923年

4,5 《A STATE DINING ROOM》1921年

6 《A CLOCK TOWER ON A COLLEGE CAMPUS》1920年

*すべて京都工芸繊維大学美術工芸資料館蔵

◎同時開催

SD Review 2016

SDレビュー2016 第35回建築・環境・インテリアのドローイングと模型の入選展

◎第5回京都大学ミュージアムスタンプラリー開催中

詳細は、以下のウェブサイトをご覧ください。

<http://univ-museum-kyoto.com/>

京都工芸繊維大学
美術工芸資料館
MUSEUM AND ARCHIVES



京都工芸繊維大学
KYOTO INSTITUTE OF TECHNOLOGY

京都・大学ミュージアム連携
University Museum Association of Kyoto

